

予算は適正に使われたか 平成30年度一般会計決算認定

9月 定例会

9月定例会では、議長を除く全議員で構成する決算審査特別委員会が設置され、平成30年度一般会計決算審査が行われました。

議会が当初議決した趣旨と目的に沿って適正かつ効率的に予算を執行されたのか、また、どのような行政効果が発揮できたのかなど、その費用対効果を検証し審査するため、分科会（各常任委員会）で審査にあたりました。

＜決算を認定するにあたり指摘事項を市に提言＞

- ・がけ地近接等危険住宅移転事業補助金について、補助制度の周知徹底を図っていただきたい。

一般会計決算状況は

黒字決算

平成30年度一般会計

歳入総額 > 370億8617万円

歳出総額 > 358億8361万円

翌年度に繰り越すべき財源 2億3629万円

実質収支額 > 9億6626万円

決算認定反対討論 要旨

財政調整基金は積み立てすぎと思われる。財産の差し押さえなどの強権的な手法ではなく、ファイナンシャルプランニング業務を充実させて税の滞納を減らすべきと考える。不公正な同和事業はやめるべきであるとする。

(森 茂生)

外国語指導助手派遣事業

2686万円

小中学校の外国語授業において、教師とともに英語を指導する助手を派遣します。

新年度すぐに事業が開始できるよう、今年度中に手続き期間を確保するため予算が補正されました。



一般会計補正予算の主な内容

(関連「委員会審査」4〜5ページ)

9月定例会は、8月28日から9月20日までの24日間の会期で開催しました。市長より3億7557万5千円を追加する一般会計補正予算案や条例改正案、人事案などの議案が提案され、いずれも原案どおり可決・同意しました。また、平成30年度決算認定（一般会計、特別会計、水道事業会計）が提案され賛成多数で本決算を認定しました。議員提出議案「国道3号広川〜八女バイパスの早期完成を求める決議について」が提案され、可決しました。今後は、広川町議会と要望活動を行っていきます。

(賛否表16〜17ページ)



公共施設の使用料・利用料金改正

～料金の見直しは令和2年度から～

今回の改正は、令和元年10月1日から消費税率が10パーセントに引き上げられることや、合併以後の八女市における統一的な料金体系を構築するため、公共施設について定めている50本の条例について、使用料・利用料金等の見直しが行われました。



問 施設利用者からみれば負担が大きいのと思うが、利用者への周知などどのように考えているか。

答 当初は令和元年10月1日から見直しを行うことで進んでいたが、令和2年4月1日に延ばし、半年間を周知期間として設けている。

人事案件

公平委員会委員

次の方を選任することに同意しました。

廣 津 洋 吉 氏

人権擁護委員

次の方を適任と認めました。

古 川 正 二 氏
 近 藤 義 夫 氏
 草 場 せ っ 子 氏
 平 島 豊 彦 氏
 東 ひがし リツ子 氏
 酒 さか 井 たつ彦 氏
 中津留 千鶴子 氏

林業振興費 8094万円

森林が有する公益的機能（木材の生産、水質浄化や水資源貯留など水源の涵養、土砂災害の防止、二酸化炭素吸収など）を長期的に発揮できるよう間伐などの森林の整備を行います。



地域密着型施設等整備補助金 2900万円

対象となる介護保険施設を民間事業者が整備するにあたり、その経費を補助します。

